

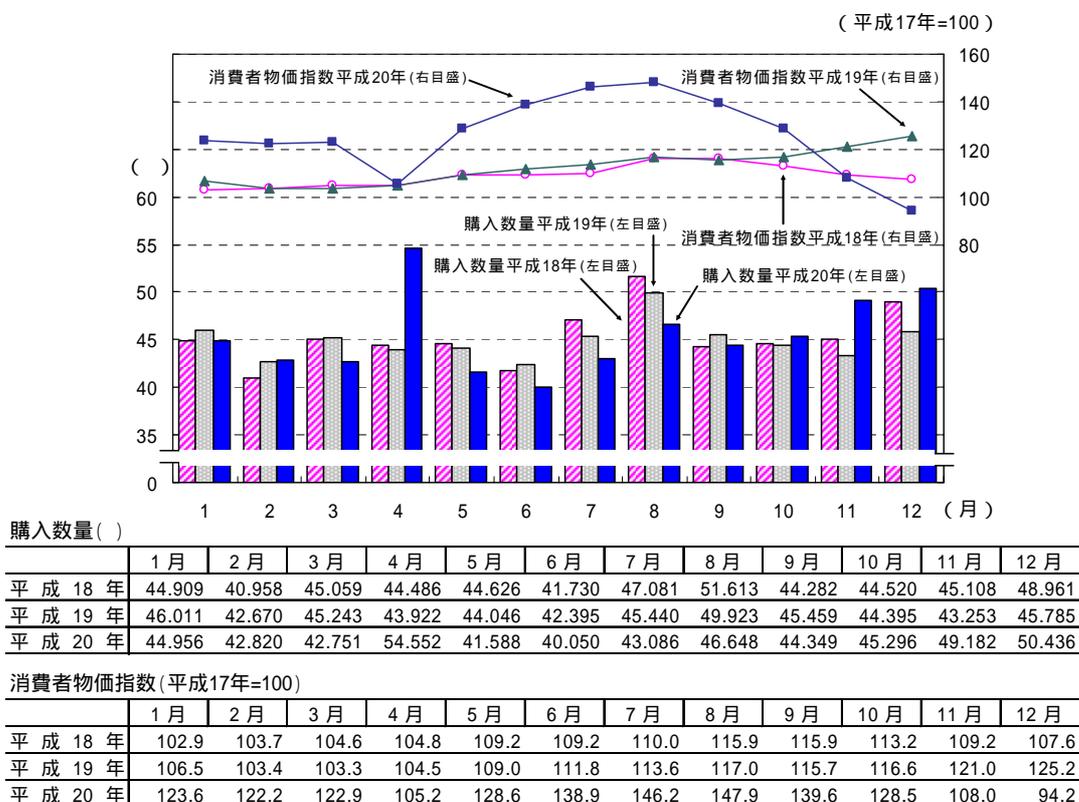
最近の家計消費の動向（二人以上の世帯）

1 原油関連品目の動き

(1) ガソリン

ガソリンは、価格が上昇したことなどから、平成20年3月から9月までは、4月を除き前年同月に比べ購入数量が減少となった。平成20年4月は1日からいわゆるガソリン税（揮発油税及び地方道路税）の暫定税率の期限切れによる値下げがあったことなどから、購入数量が前年同月に比べ大きく増加となった。価格は平成20年8月に最も上昇したが、それ以降は低下しており、10月以降は前年同月に比べ購入数量が増加となっている（図 - 1 - 1）。

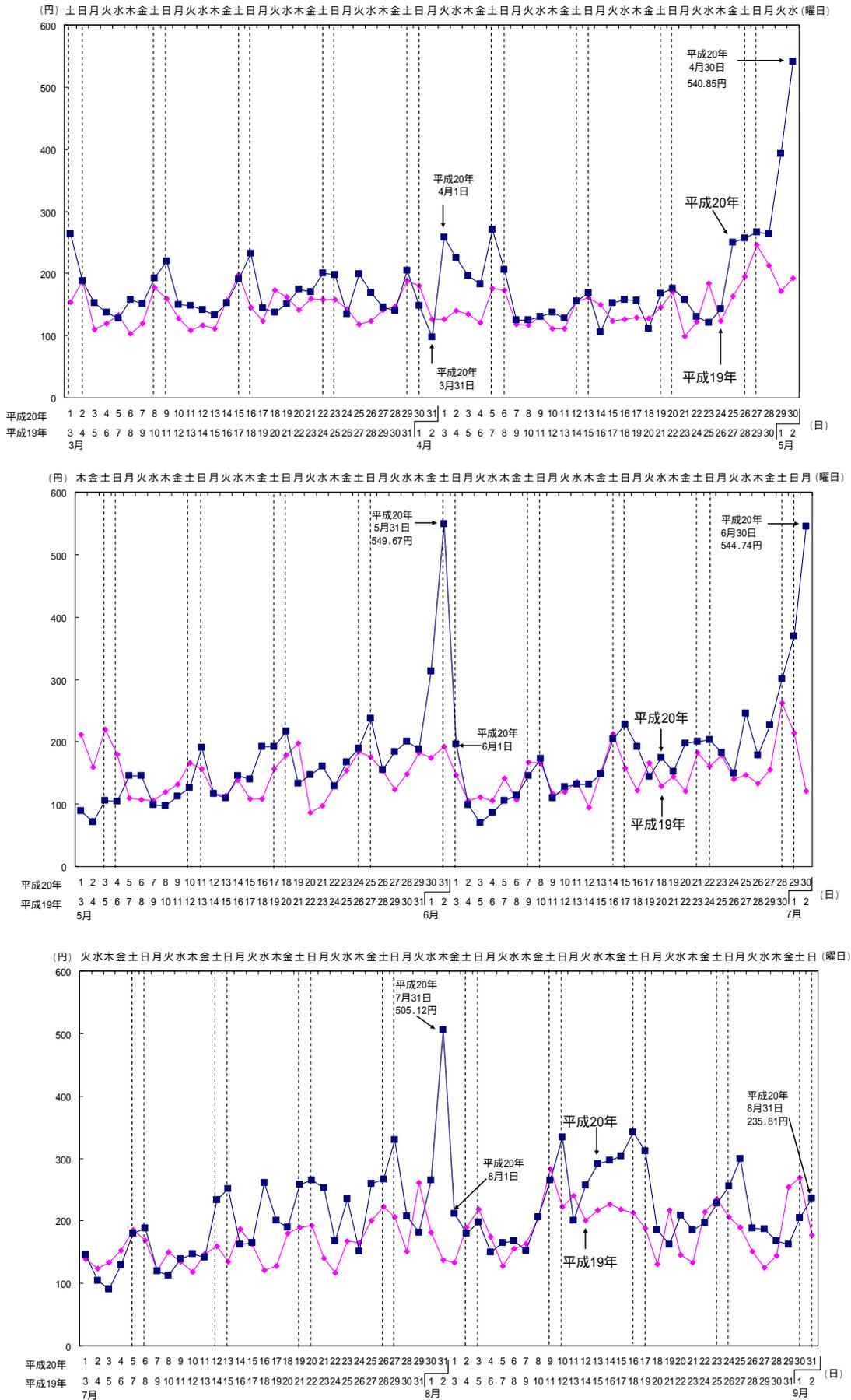
図 - 1 - 1 ガソリンの月別購入数量の推移（二人以上の世帯）



ガソリンの日別支出金額を前年同時期の同曜日と比較すると、平成20年3月31日は買い控えがみられた。その後、平成20年4月から7月までは、月初めに価格が再上昇することなどから月末の駆け込み需要がみられ、特に、5月31日は549.67円に支出が増加した（図 - 1 - 2）。

図 - 1 - 2 ガソリンの日別支出金額の推移（二人以上の世帯）

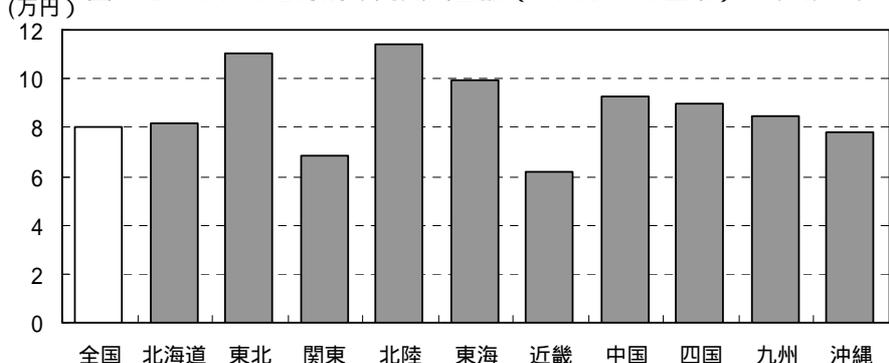
- 平成19年3月～9月及び20年3月～8月 -



<参考> ガソリンの地方別年間支出金額

ガソリンの平成20年の年間支出金額について地方別にみると、北陸が最も多く、次いで東北、東海などとなっており、近畿が最も少なくなっている。全国平均の支出金額と比べると、北陸及び東北は共に1.4倍、東海及び中国は共に1.2倍となっている。

図 ガソリンの地方別年間支出金額（二人以上の世帯） - 平成20年 -

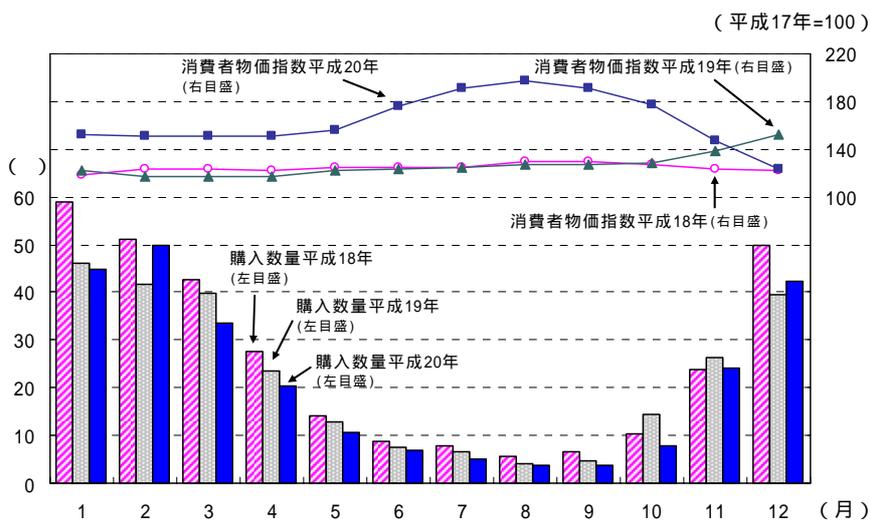


| | 全国 | 北海道 | 東北 | 関東 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|--------------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年間支出金額(円) | 80,443 | 81,686 | 110,103 | 68,099 | 113,764 | 99,691 | 61,881 | 92,805 | 89,694 | 84,929 | 77,747 |
| 全国平均に対する比(倍) | 1.0 | 1.0 | 1.4 | 0.8 | 1.4 | 1.2 | 0.8 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 1.0 |

(2) 灯油

灯油は、価格が上昇したことなどから、平成20年3月以降前年同月に比べ購入数量が9か月連続して減少となった。価格は平成20年8月に最も上昇したが、それ以降は低下しており、前年同月の価格を下回った12月は、前年同月に比べ購入数量が増加となった（図 - 1 - 3）。

図 - 1 - 3 灯油の月別購入数量の推移（二人以上の世帯）



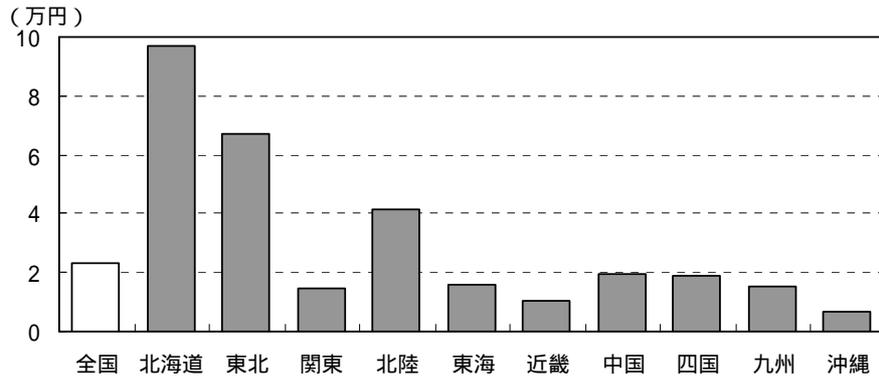
| 購入数量() | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 平成18年 | 58.861 | 51.010 | 42.681 | 27.518 | 14.037 | 8.831 | 7.951 | 5.763 | 6.714 | 10.303 | 23.677 | 50.008 |
| 平成19年 | 46.021 | 41.839 | 39.729 | 23.508 | 12.742 | 7.481 | 6.455 | 4.144 | 4.848 | 14.364 | 26.443 | 39.445 |
| 平成20年 | 44.687 | 49.882 | 33.401 | 20.246 | 10.812 | 6.939 | 5.132 | 3.782 | 3.644 | 7.801 | 24.053 | 42.213 |

| 消費者物価指数(平成17年=100) | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成18年 | 118.2 | 123.9 | 122.8 | 122.0 | 124.7 | 125.1 | 125.1 | 129.6 | 130.1 | 127.8 | 123.7 | 122.4 |
| 平成19年 | 121.8 | 117.7 | 116.8 | 117.4 | 122.2 | 123.6 | 124.8 | 127.5 | 127.3 | 128.3 | 138.4 | 151.8 |
| 平成20年 | 152.1 | 150.7 | 150.9 | 150.9 | 155.9 | 175.7 | 191.2 | 197.3 | 191.3 | 177.8 | 146.8 | 123.5 |

<参考> 灯油の地方別年間支出金額

灯油の平成20年の年間支出金額について地方別にみると、北海道が最も多く、次いで東北、北陸などとなっており、沖縄が最も少なくなっている。全国平均の支出金額と比べると、北海道は4.2倍、東北は2.9倍、北陸は1.8倍となっている。

図 灯油の地方別年間支出金額（二人以上の世帯） - 平成20年 -



| | 全国 | 北海道 | 東北 | 関東 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 年間支出金額 (円) | 23,153 | 97,210 | 66,780 | 14,759 | 41,760 | 16,092 | 10,612 | 19,492 | 19,129 | 15,147 | 6,752 |
| 全国平均に対する比 (倍) | 1.0 | 4.2 | 2.9 | 0.6 | 1.8 | 0.7 | 0.5 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.3 |

灯油の支出金額について地方別に価格上昇時とそれ以外の時期で比較してみると、平成19年10月～20年5月期は、前年同期に比べ沖縄以外の地方で支出金額が増加し、特に、支出金額が多い北海道では18,893円の増加となった。平成20年6月～10月期は、価格は上昇したものの、購入数量が減ったことなどから、前年同期との差は前期より小さくなり、北海道で1,708円となった。前期に比べ価格が低下している平成20年11月～12月期は、前年同期に比べ沖縄以外の地方で支出金額が減少となっている。

表 灯油の地方別支出金額（二人以上の世帯） - 価格上昇時との比較 -

| 地方 | 支出金額 (円) | | | 支出金額 (円) | | | 支出金額 (円) | | |
|-----|----------------|--------------|--------|-------------|-----------|--------|--------------|------------|--------|
| | 平成18年10月～19年5月 | 19年10月～20年5月 | 対前年同期差 | 平成19年6月～10月 | 20年6月～10月 | 対前年同期差 | 平成19年11月～12月 | 20年11月～12月 | 対前年同期差 |
| 全国 | 18,141 | 22,099 | 3,958 | 2,910 | 3,097 | 187 | 5,923 | 5,019 | -904 |
| 北海道 | 70,955 | 89,848 | 18,893 | 12,612 | 14,320 | 1,708 | 20,030 | 18,248 | -1,782 |
| 東北 | 53,859 | 62,679 | 8,820 | 9,379 | 10,635 | 1,256 | 17,703 | 14,413 | -3,290 |
| 関東 | 11,726 | 14,340 | 2,614 | 1,914 | 1,921 | 7 | 4,046 | 3,270 | -776 |
| 北陸 | 32,529 | 40,218 | 7,689 | 5,084 | 4,889 | -195 | 9,922 | 8,938 | -984 |
| 東海 | 12,511 | 15,067 | 2,556 | 1,462 | 1,655 | 193 | 3,965 | 3,806 | -159 |
| 近畿 | 7,476 | 9,992 | 2,516 | 694 | 1,003 | 309 | 2,772 | 2,656 | -116 |
| 中国 | 16,628 | 19,713 | 3,085 | 2,690 | 2,590 | -100 | 5,905 | 4,387 | -1,518 |
| 四国 | 15,378 | 19,555 | 4,177 | 3,801 | 2,488 | -1,313 | 5,087 | 3,799 | -1,288 |
| 九州 | 12,222 | 15,005 | 2,783 | 1,868 | 1,918 | 50 | 4,382 | 3,446 | -936 |
| 沖縄 | 7,846 | 5,162 | -2,684 | 1,709 | 1,806 | 97 | 1,285 | 1,400 | 115 |

(注) 平成18年10月～19年5月、19年6月～10月、19年11月～12月、19年10月～20年5月、20年6月～10月及び20年11月～12月の支出金額は各月を合計したものである。

2 注目された食料品の動き

(1) ぎょうざ

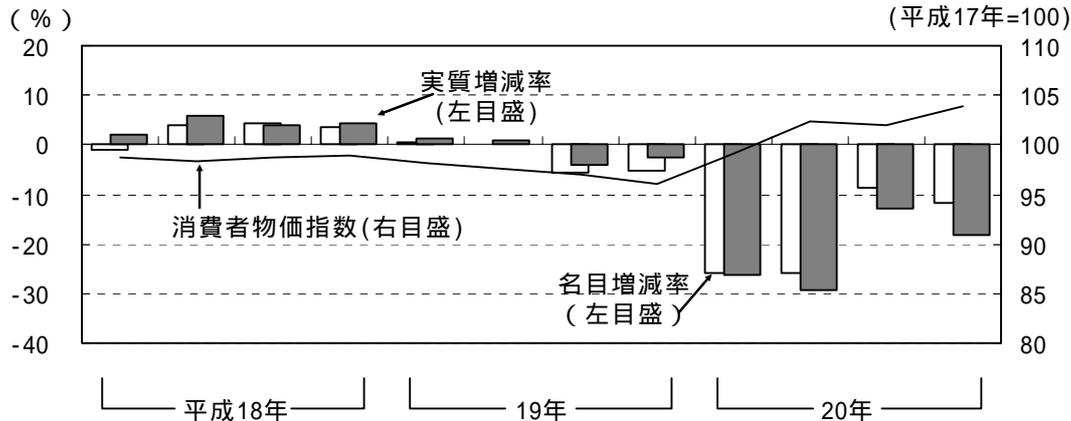
ぎょうざは、平成20年1月末に中国産冷凍ぎょうざが原因と疑われる健康被害の発生が大きく報道されたことなどから、20年1～3月期以降は、大幅な実質減少となっている。ぎょうざの日別支出金額をみると、平成20年1月末から6月まで、前年の水準を大きく下回って推移するとともに、7月以降も前年より低い水準で推移している（図 - 2 - 1、図 - 2 - 2）。

（注）「ぎょうざ」とは、焼きぎょうざ、蒸しぎょうざ、水ぎょうざ、揚げぎょうざのほか、生も含む。ただし、冷凍品は「冷凍調理食品」に含まれている。

図 - 2 - 1 ぎょうざの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

（二人以上の世帯）

（平成17年=100）



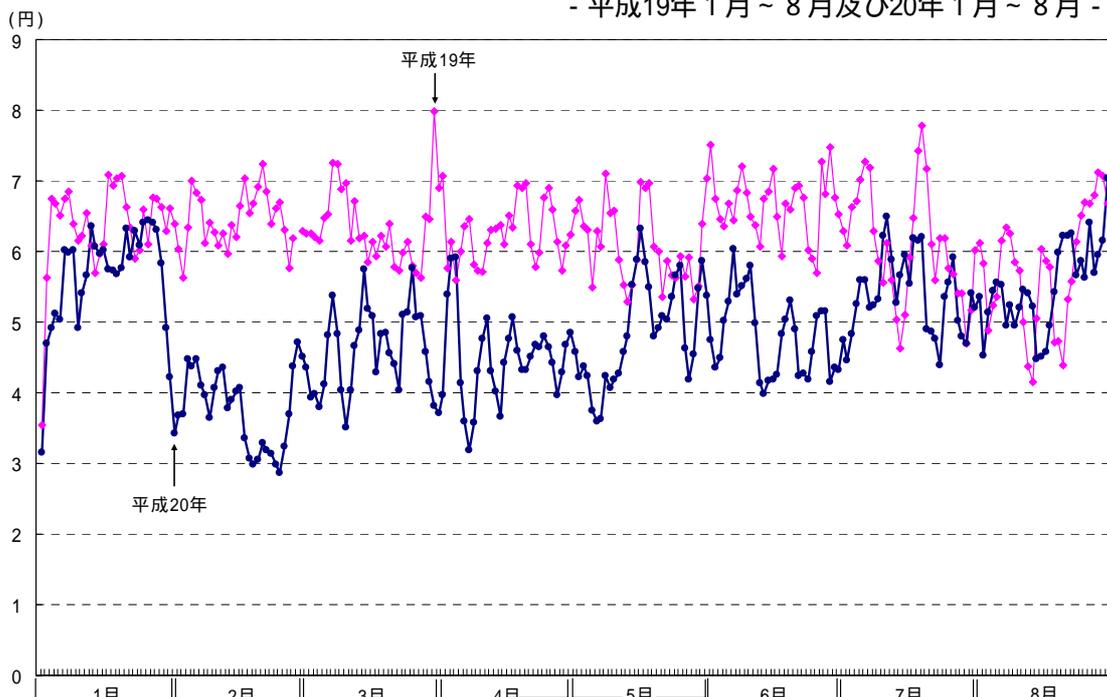
| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|----------------|-------|------|-----|------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 名目増減率 (%) | -1.2 | 4.1 | 4.5 | 3.7 | 0.5 | 0.0 | -5.6 | -5.4 | -25.7 | -26.0 | -8.6 | -11.9 |
| 実質増減率 (%) | 1.9 | 5.8 | 3.9 | 4.5 | 1.1 | 0.8 | -3.9 | -2.6 | -26.4 | -29.4 | -13.0 | -18.4 |
| 消費者物価指数変化率 (%) | -3.0 | -1.6 | 0.6 | -0.8 | -0.6 | -0.8 | -1.8 | -2.9 | 0.9 | 4.8 | 5.1 | 8.0 |

（注）1. ぎょうざの増減率の実質化には、消費者物価指数（ぎょうざ）を用いた。

2. は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。以下同じ。

図 - 2 - 2 ぎょうざの日別支出金額の推移（二人以上の世帯）

- 平成19年1月～8月及び20年1月～8月 -



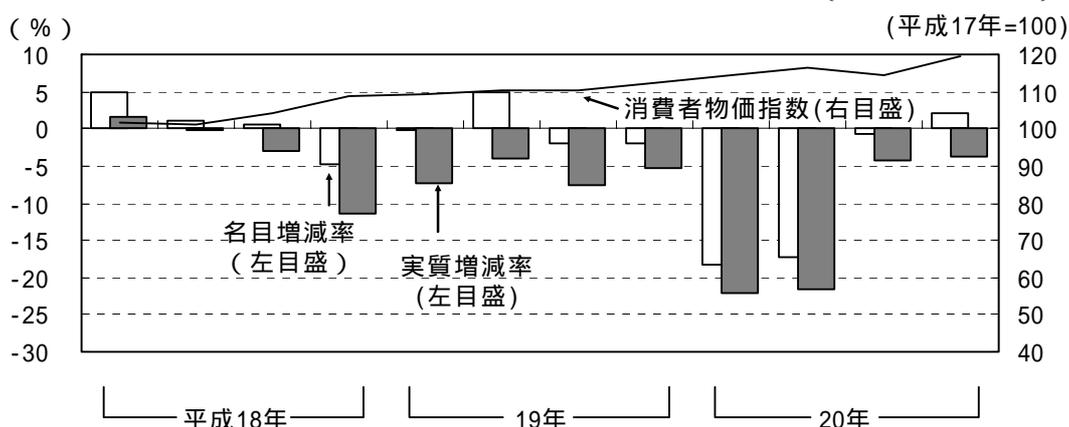
（注）支出金額は3日移動平均値である（図 - 2 - 4も同じ）。

(2) 冷凍調理食品

冷凍調理食品は、平成20年1月末に中国産冷凍ぎょうざが原因と疑われる健康被害の発生が大きく報道されたことなどから、20年1～3月期以降は大幅な実質減少となっており、18年4～6月期以降、11期連続の実質減少となっている。冷凍調理食品の日別支出金額をみると、平成20年1月末から6月までは前年の水準を下回って推移した。平成20年7月以降は前年との差が縮小してきている（図 - 2 - 3、図 - 2 - 4）。

図 - 2 - 3 冷凍調理食品の四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

（二人以上の世帯）

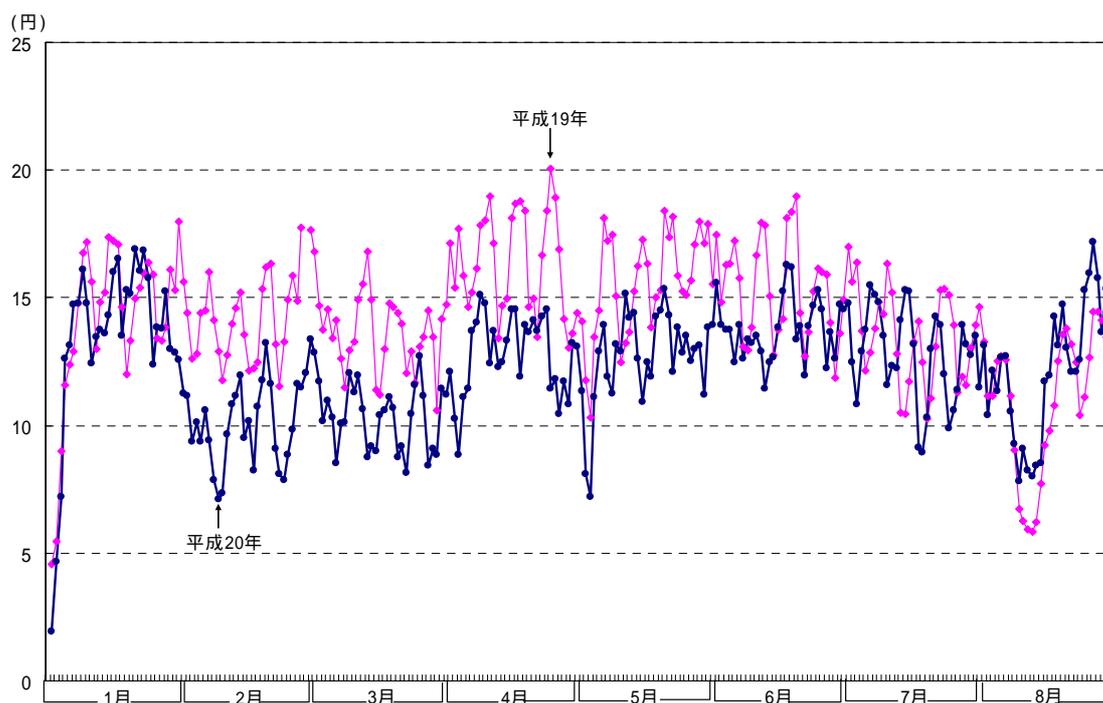


| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|----------------|-------|------|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 名目増減率 (%) | 4.9 | 1.1 | 0.7 | -4.7 | -0.2 | 4.8 | -2.1 | -2.0 | -18.4 | -17.3 | -0.6 | 2.2 |
| 実質増減率 (%) | 1.7 | -0.1 | -3.0 | -11.3 | -7.2 | -3.9 | -7.6 | -5.3 | -22.1 | -21.5 | -4.3 | -3.8 |
| 消費者物価指数変化率 (%) | 3.1 | 1.2 | 3.8 | 7.5 | 7.5 | 9.0 | 6.0 | 3.5 | 4.8 | 5.4 | 3.9 | 6.2 |

（注）冷凍調理食品の増減率の実質化には、消費者物価指数（冷凍調理コロッケ及び冷凍調理ハンバーグの加重平均）を用いた。

図 - 2 - 4 冷凍調理食品の日別支出金額の推移（二人以上の世帯）

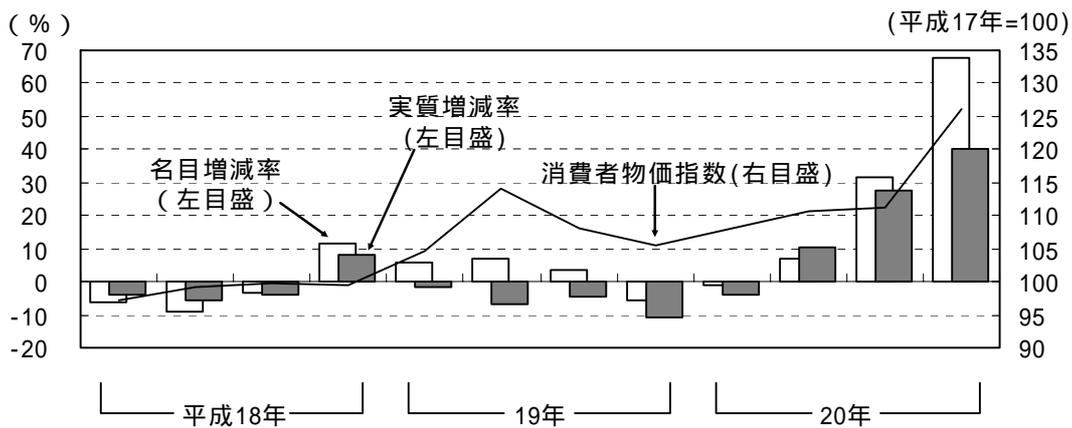
- 平成19年1月～8月及び20年1月～8月 -



(3) バナナ

バナナは、平成20年4～6月期以降は3期連続して大幅な実質増加となっている。バナナの日別支出金額をみると、平成20年8月以降は前年の水準を大きく上回って推移している。バナナに関するダイエット番組がテレビ放送された平成20年9月19日は15.58円であったが、翌日には20.30円に増加し、その後も前年に比べ高い水準で推移している（図 - 2 - 5，図 - 2 - 6）。

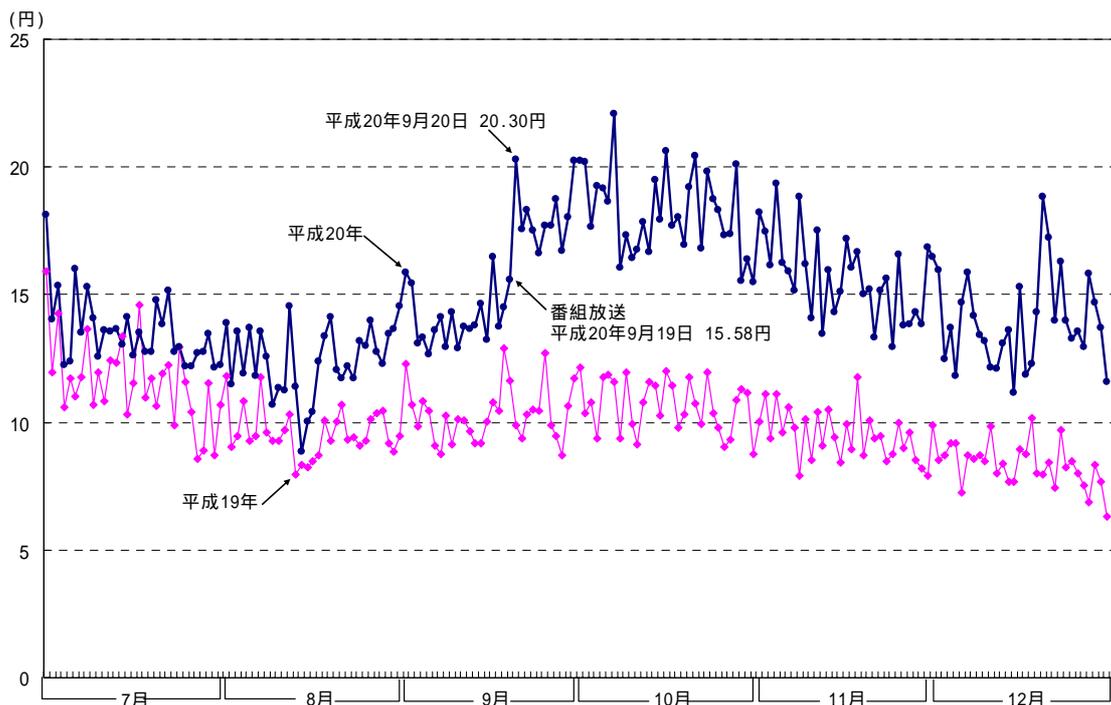
図 - 2 - 5 バナナの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移
(二人以上の世帯)



| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|---------------|-------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|------|------|------|
| 名目増減率(%) | -6.3 | -9.0 | -3.6 | 11.4 | 5.9 | 7.0 | 3.3 | -5.4 | -0.8 | 6.8 | 31.8 | 67.8 |
| 実質増減率(%) | -3.7 | -5.9 | -3.9 | 7.9 | -1.5 | -7.0 | -4.5 | -10.9 | -4.0 | 10.1 | 27.8 | 40.4 |
| 消費者物価指数変化率(%) | -2.7 | -3.3 | 0.3 | 3.2 | 7.5 | 15.1 | 8.2 | 6.2 | 3.3 | -3.0 | 3.1 | 19.5 |

(注) バナナの増減率の実質化には、消費者物価指数(バナナ)を用いた。

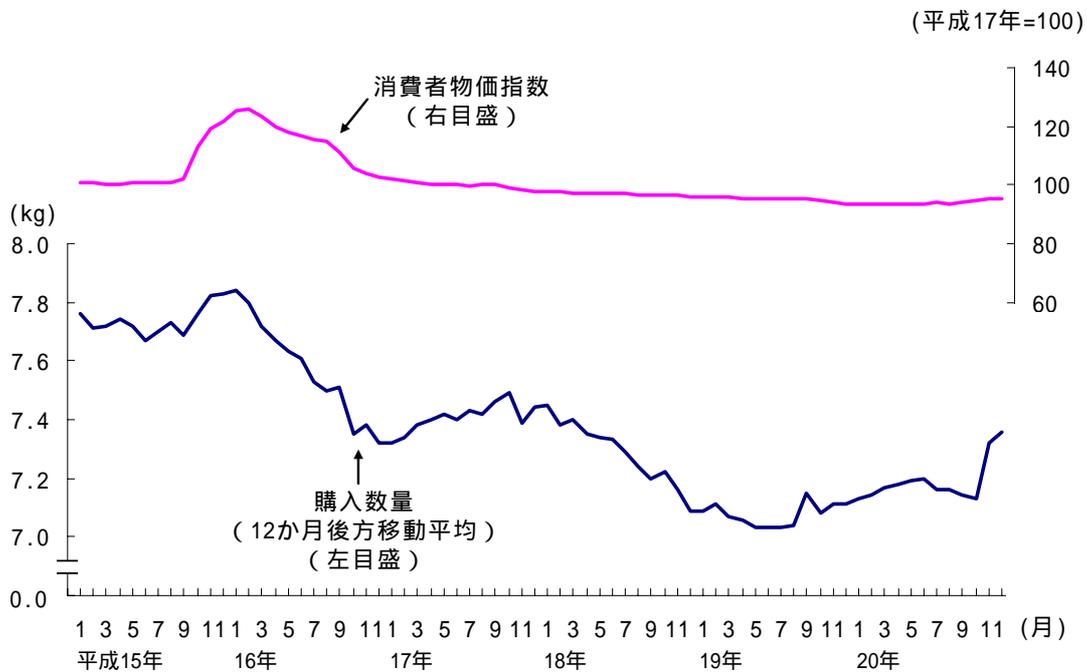
図 - 2 - 6 バナナの日別支出金額の推移(二人以上の世帯)
- 平成19年7月～12月及び20年7月～12月 -



(4) 米

米の購入数量は、平成19年8月以降は増加傾向にあったが、20年7月以降は減少傾向となった。平成20年11月以降は再び増加となっている（図 - 2 - 7）。

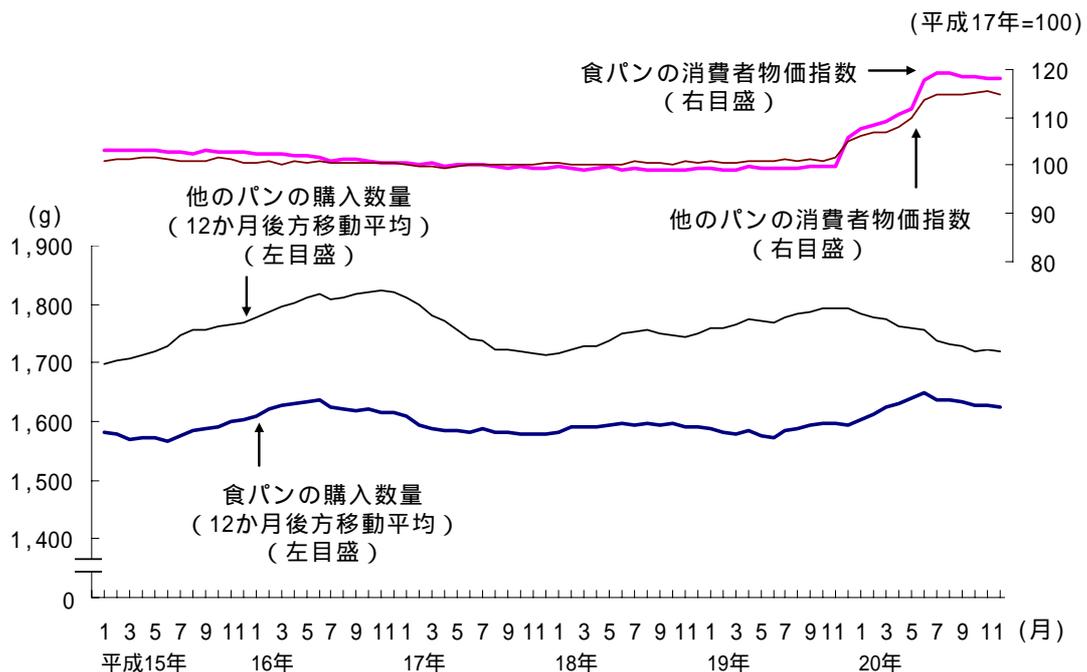
図 - 2 - 7 米の月別購入数量の推移（二人以上の世帯）



(5) 食パン及び他のパン

他のパンの購入数量は、平成19年12月以降減少傾向となっている。また、食パンの購入数量は、平成19年7月以降は増加傾向にあったが、20年7月以降は減少となっている（図 - 2 - 8）。

図 - 2 - 8 食パン及び他のパンの月別購入数量の推移（二人以上の世帯）

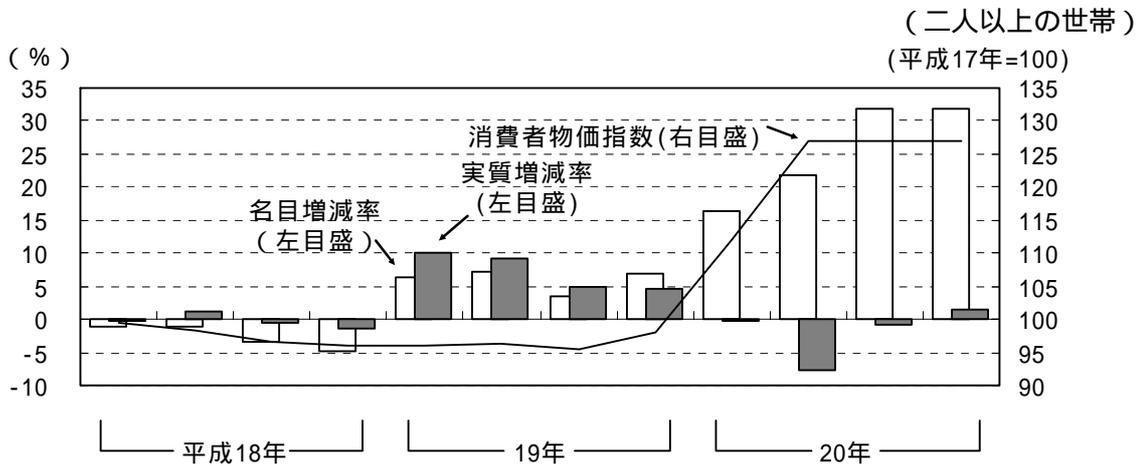


(注) 他のパンの消費者物価指数には、消費者物価指数（あんパン及びカレーパンの加重平均）を用いた。

(6) スパゲッティ

スパゲッティは、平成20年1～3月期以降は価格が上昇していることなどから、前年同期に比べ3期連続の実質減少となった。平成20年10～12月期は実質増加となっている（図 - 2 - 9）。

図 - 2 - 9 スパゲッティの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移



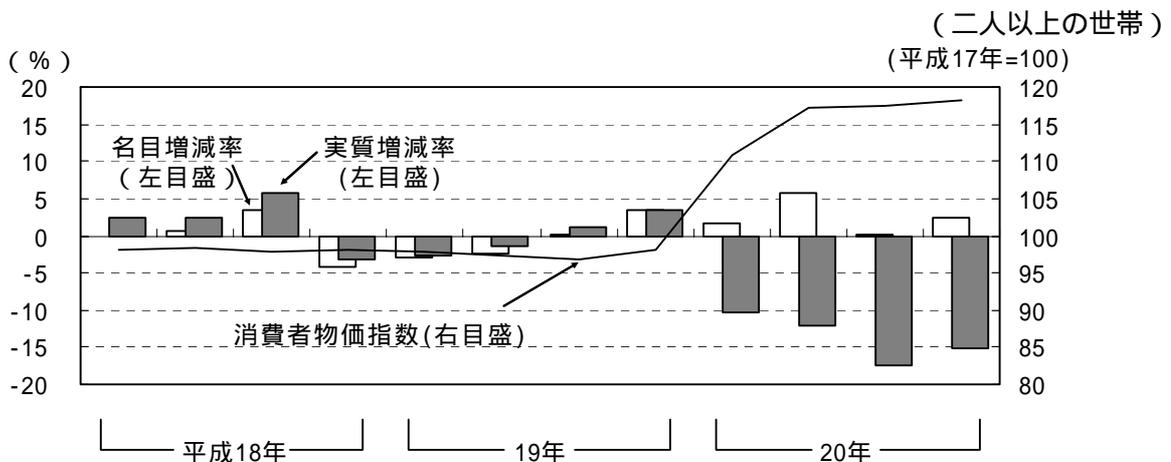
| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|---------------|-------|------|------|------|-------|------|------|-----|-------|------|------|------|
| 名目増減率(%) | -1.2 | -1.1 | -3.4 | -4.9 | 6.4 | 7.2 | 3.5 | 6.8 | 16.5 | 21.9 | 31.8 | 31.8 |
| 実質増減率(%) | -0.2 | 1.2 | -0.6 | -1.3 | 10.0 | 9.3 | 4.8 | 4.7 | -0.1 | -7.6 | -0.8 | 1.6 |
| 消費者物価指数変化率(%) | -1.0 | -2.3 | -2.8 | -3.6 | -3.3 | -1.9 | -1.2 | 2.0 | 16.6 | 31.9 | 32.9 | 29.7 |

(注) スパゲッティの増減率の実質化には、消費者物価指数(スパゲッティ)を用いた。

(7) カップめん

カップめんは、平成20年1～3月期以降は価格が上昇していることなどから、前年同期に比べ4期連続の実質減少となっている（図 - 2 - 10）。

図 - 2 - 10 カップめんの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移



| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|---------------|-------|------|------|------|-------|------|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 名目増減率(%) | 0.0 | 0.7 | 3.5 | -4.3 | -3.0 | -2.3 | 0.1 | 3.5 | 1.6 | 5.8 | 0.1 | 2.4 |
| 実質増減率(%) | 2.5 | 2.5 | 5.8 | -3.1 | -2.6 | -1.4 | 1.1 | 3.5 | -10.4 | -12.0 | -17.4 | -15.1 |
| 消費者物価指数変化率(%) | -2.4 | -1.8 | -2.2 | -1.2 | -0.4 | -0.9 | -1.0 | 0.0 | 13.4 | 20.2 | 21.2 | 20.6 |

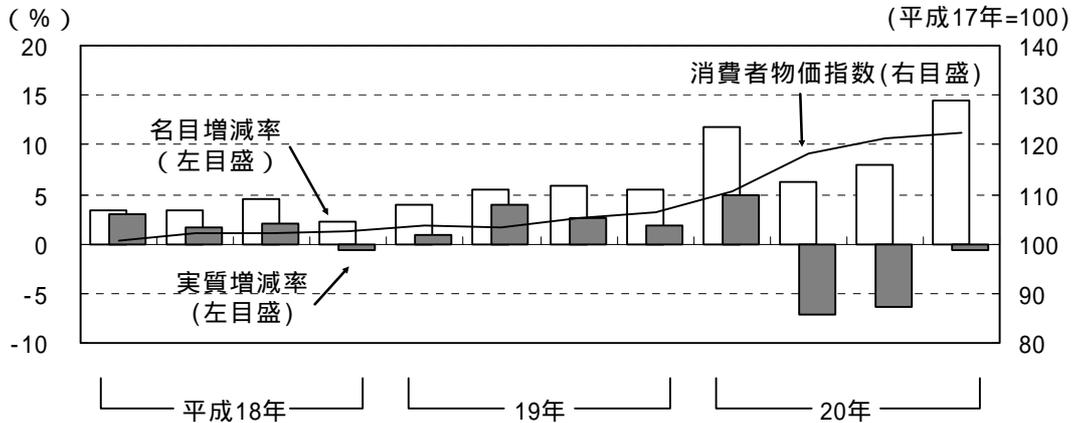
(注) カップめんの増減率の実質化には、消費者物価指数(即席めん)を用いた。

(8) チーズ

チーズは、平成20年4～6月期以降は価格が上昇していることなどから、前年同期に比べ3期連続の実質減少となっている（図 - 2 - 11）。

図 - 2 - 11 チーズの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

（二人以上の世帯）



| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|----------------|-------|-----|-----|------|-------|-----|-----|-----|-------|------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 名目増減率 (%) | 3.3 | 3.4 | 4.5 | 2.2 | 4.0 | 5.5 | 5.8 | 5.5 | 11.8 | 6.2 | 7.9 | 14.5 |
| 実質増減率 (%) | 2.9 | 1.7 | 2.1 | -0.6 | 0.8 | 4.0 | 2.7 | 1.9 | 5.0 | -7.2 | -6.3 | -0.6 |
| 消費者物価指数変化率 (%) | 0.4 | 1.7 | 2.4 | 2.8 | 3.2 | 1.4 | 3.0 | 3.5 | 6.5 | 14.5 | 15.1 | 15.2 |

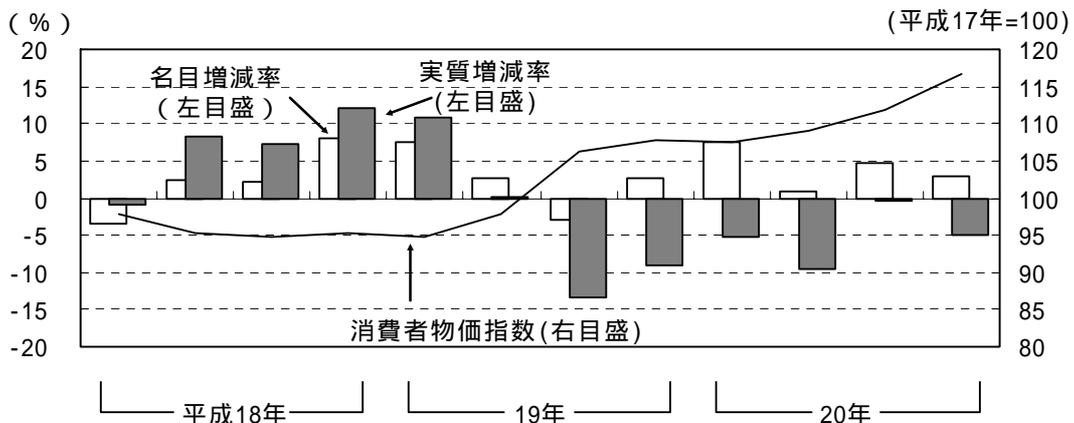
（注） チーズの増減率の実質化には、消費者物価指数（チーズ及びチーズ（輸入品）の加重平均）を用いた。

(9) マヨネーズ・ドレッシング

マヨネーズ・ドレッシングは、平成19年7～9月期以降は価格が上昇していることなどから、前年同期に比べ6期連続の実質減少となっている（図 - 2 - 12）。

図 - 2 - 12 マヨネーズ・ドレッシングの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移

（二人以上の世帯）



| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|----------------|-------|------|------|------|-------|-----|-------|------|-------|------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 名目増減率 (%) | -3.5 | 2.4 | 2.1 | 8.1 | 7.4 | 2.6 | -3.0 | 2.8 | 7.5 | 0.9 | 4.8 | 2.9 |
| 実質増減率 (%) | -0.8 | 8.4 | 7.2 | 12.1 | 10.8 | 0.1 | -13.5 | -9.1 | -5.1 | -9.6 | -0.5 | -5.0 |
| 消費者物価指数変化率 (%) | -2.7 | -5.5 | -4.8 | -3.6 | -3.1 | 2.5 | 12.1 | 13.1 | 13.3 | 11.6 | 5.3 | 8.3 |

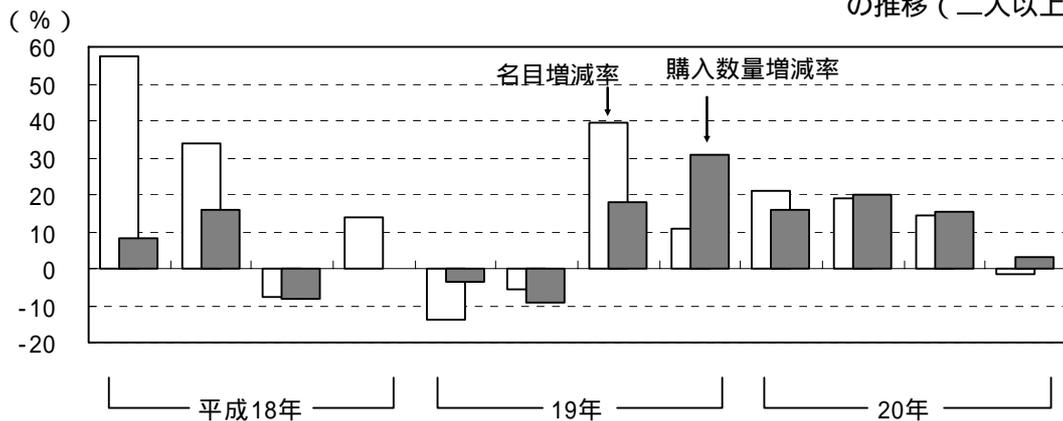
（注） マヨネーズ・ドレッシングの増減率の実質化には、消費者物価指数（マヨネーズ）を用いた。

3 耐久財の主な品目の動き

(1) テレビ

テレビは、平成20年は薄型テレビの価格が低下したことや北京オリンピックが開催されたことなどから、前年同期に比べ購入数量が増加となった。一方、支出金額をみると、平成20年1～3月期から7～9月期までは、前年同期に比べ名目増加となったが、10～12月期は名目減少となった(図 - 3 - 1)。

図 - 3 - 1 テレビの四半期別支出金額の対前年同期名目増減率及び購入数量増減率の推移(二人以上の世帯)

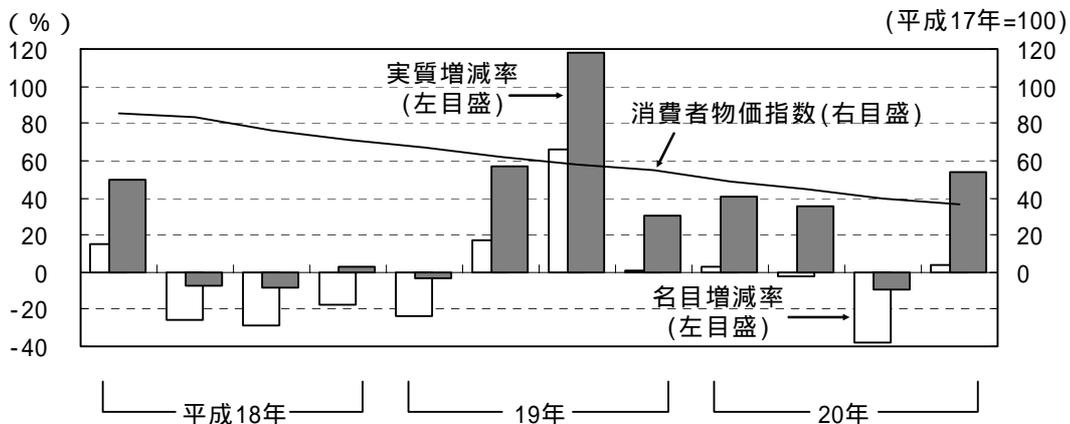


| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|-------------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 名目増減率 (%) | 57.2 | 33.6 | -7.7 | 13.9 | -13.9 | -5.4 | 39.4 | 10.7 | 20.9 | 19.2 | 14.6 | -1.5 |
| 購入数量増減率 (%) | 8.3 | 15.8 | -8.3 | 0.0 | -3.8 | -9.1 | 18.2 | 30.8 | 16.0 | 20.0 | 15.4 | 2.9 |

(2) パーソナルコンピュータ

パーソナルコンピュータは、平成20年は低価格帯機種が発売されたこともあり、前年の反動で減少した7～9月期を除き、前年同期に比べ支出金額は実質増加となったものの、名目でみると大きな変化はなかった(図 - 3 - 2)。

図 - 3 - 2 パーソナルコンピュータの四半期別支出金額の対前年同期増減率の推移(二人以上の世帯)



| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 名目増減率 (%) | 14.8 | -25.3 | -28.4 | -17.4 | -23.9 | 16.8 | 65.8 | 1.1 | 2.3 | -2.3 | -37.6 | 4.1 |
| 実質増減率 (%) | 49.9 | -7.3 | -7.9 | 2.9 | -3.8 | 56.6 | 117.9 | 30.8 | 40.1 | 35.5 | -9.8 | 54.2 |
| 消費者物価指数変化率 (%) | -23.4 | -19.4 | -22.3 | -19.7 | -20.9 | -25.4 | -23.9 | -22.7 | -27.0 | -27.9 | -30.8 | -32.5 |

(注) パーソナルコンピュータの増減率の実質化には、消費者物価指数(パソコン(デスクトップ型), パソコン(ノート型)及びパソコン用プリンタの加重平均)を用いた。

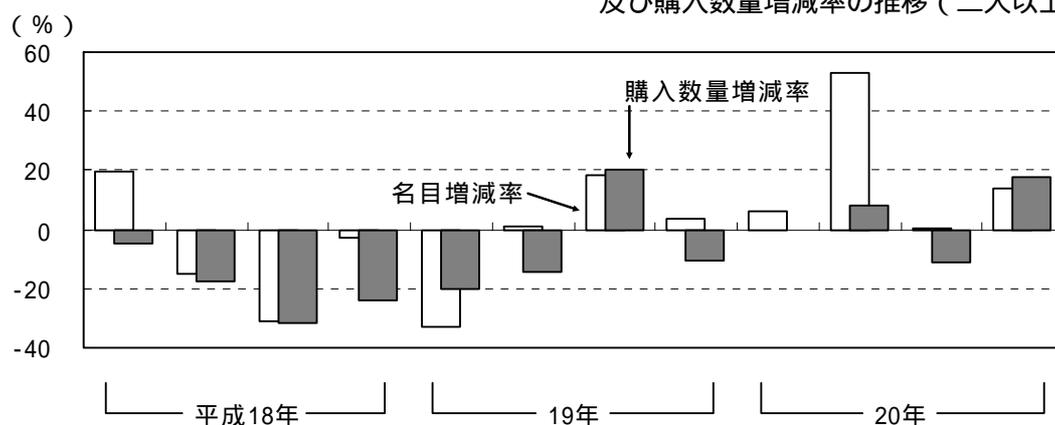
(3) ビデオデッキ

ビデオデッキは、平成20年2月に、次世代DVDの主流となる規格がブルーレイディスクに事実上決定したこともあり、前年同期に比べ、19年4～6月期以降は7期連続して名目増加となっている。特に、北京オリンピックの開催を控えた平成20年4～6月期は、名目52.8%の増加となった(図 - 3 - 3)。

(注) 「ビデオデッキ」とは、テレビに接続して映像の録画・再生に使用するもので、ビデオテープレコーダーのほか、DVDレコーダー、DVDプレーヤー、HDDレコーダーなども含む。

図 - 3 - 3 ビデオデッキの四半期別支出金額の対前年同期名目増減率

及び購入数量増減率の推移(二人以上の世帯)

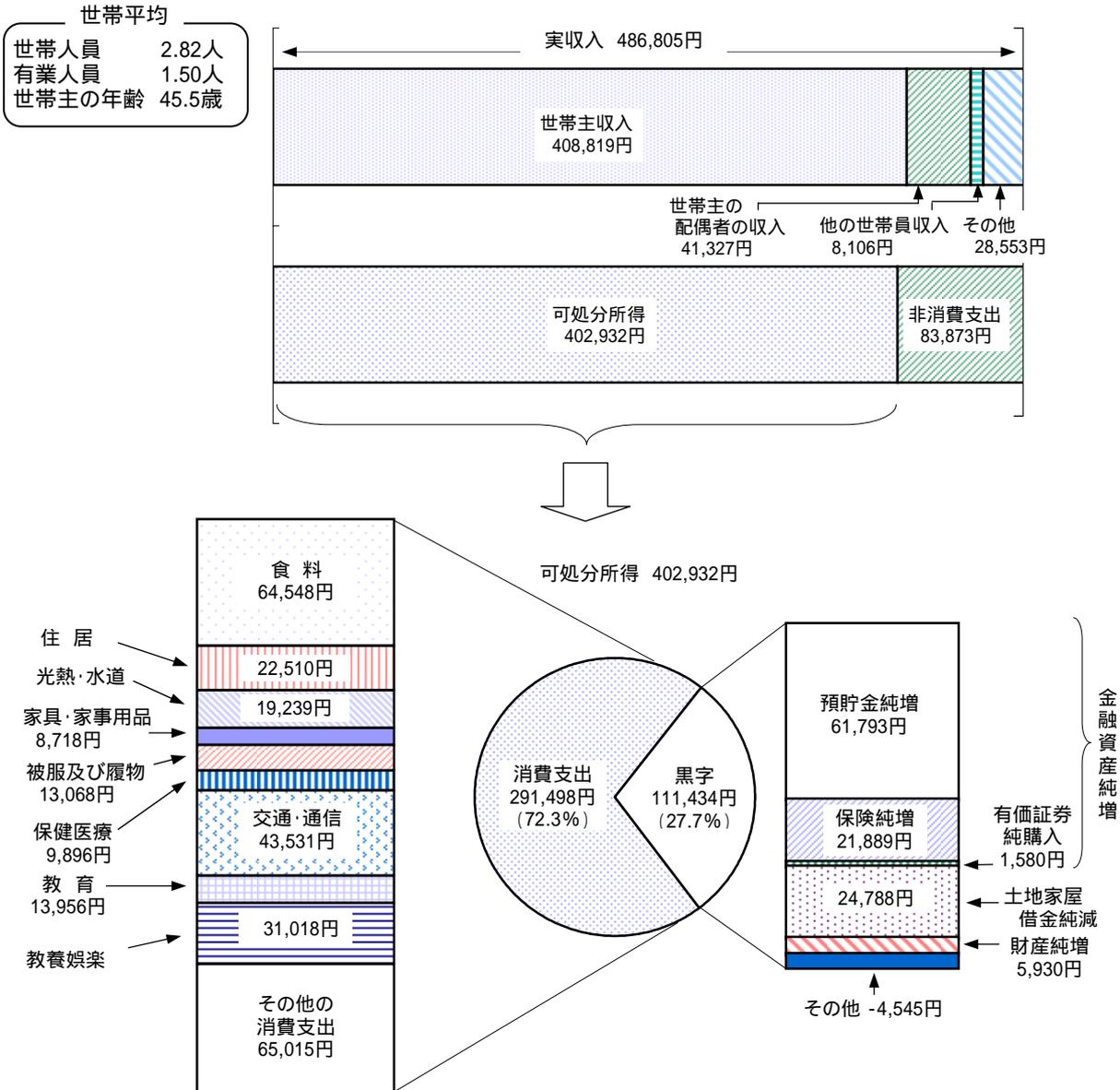


| | 平成18年 | | | | 平成19年 | | | | 平成20年 | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 名目増減率(%) | 19.9 | -15.1 | -31.1 | -2.7 | -32.7 | 1.0 | 18.6 | 3.7 | 6.3 | 52.8 | 0.6 | 13.7 |
| 購入数量増減率(%) | -4.8 | -17.6 | -31.8 | -24.0 | -20.0 | -14.3 | 20.0 | -10.5 | 0.0 | 8.3 | -11.1 | 17.6 |

<参考> 平成20年の家計収支の状況

1世帯当たり1か月平均の消費支出は29万1千円

図 家計収支の状況（総世帯のうち勤労者世帯） - 平成20年 -



- (注) 1. 実収入のうちその他とは、実収入から世帯主収入、世帯主の配偶者の収入及び他の世帯員収入を除いたものである。例えば、事業・内職収入などがある。
2. 黒字とは、可処分所得から消費支出を差し引いた額である。
3. 消費支出の()内は、平均消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)を、黒字の()内は、黒字率(可処分所得に対する黒字の割合)を示している。
4. 金融資産純増とは、預貯金純増、保険純増及び有価証券純購入を合わせたものである。
5. 預貯金純増とは、銀行などの金融機関への預貯金から預貯金の引出金を差し引いた額である。
6. 保険純増とは、貯蓄的要素のある保険掛金から保険の取金を差し引いた額である。
7. 有価証券純購入とは、株式、債券などの有価証券の購入金(有価証券購入)から有価証券の売却金(有価証券売却)を差し引いた額である。
8. 土地家屋借金純減とは、土地や住宅などの購入に係る借入金返済額(土地家屋借金返済)から借入額(土地家屋借入金)を差し引いた額である。なお、土地家屋借入金返済額には、支払い利子が含まれている。
9. 財産純増とは、土地、家屋など不動産の購入金(財産購入)から不動産の売却金(財産売却)を差し引いた額である。
10. 黒字の中のその他とは、黒字から金融資産純増、土地家屋借金純減及び財産純増を除いたものである。例えば、分割払購入借入金純減、一括払購入借入金純減などがある。計数のマイナス符号はこれら借入金の純増を示す。